

採択理由

プログラム名： 国際共同研究の推進
課題名： 肝吸虫感染による胆道癌の制御を目指す研究
提案機関名： 東京大学

コメント

タイ東北部において高い頻度で胆道癌の発症が見られ、保健医療上重要な問題となっているが、その疫学的な検討より、同地方でやはり高い頻度で見られる肝吸虫の感染による炎症との関係が示唆されている。こうした状況下において、本提案は、タイのコーンケン大学と共同で、タイ東北部における胆道癌発症患者を対象に、疫学、血清検査、ゲノム解析等による検討を行い、日本の胆道癌患者との比較を平行して行うことにより、肝吸虫感染者において胆道癌が生ずる要因、及び診断マーカー候補の同定を図るものである。相手国のニーズとともに共同研究実施に向けた熱意も高く、これまでの実績をもとに、着実な展開が期待できる国際共同研究提案として評価される。

本提案の実施に際しては、海外の相手機関の役割分担を明瞭にし、具体的な共同活動を実施してネットワークを緊密なものとしつつ展開していくことが期待される。また、その際、疾患発症に関与する疫学因子の網羅的解析による解明には長期間を要する可能性が考えられることから、展開に向けたロードマップを明瞭にし、段階的な目標を設定して、ステップワイズに推進されることが望まれる。なお、本課題実施に当たり、治療に向けた臨床研究を実施することは避けられたい。